

# 令和7年度 Suzuka-EMS 内部環境監査 総合所見件数

<b>推奨事項</b>	<b>29</b>
<b>適合事項</b>	<b>358</b>
<b>観察事項</b>	<b>31</b>
<b>疑義事項</b>	<b>0</b>
<b>指摘事項</b>	<b>0</b>

内部環境監査は、全所属数のおよそ3分の1の所属に対して監査を実施しました。（対象所属は別紙「内部環境監査 被監査対象所属一覧」を参照）

なお、各監査事項の定義は以下のとおりです。

◎ 推奨事項の定義

- ・他の模範となるような環境配慮事項が認められたとき

◎ 適合事項の定義

- ・Suzuka-EMS の取組が適正に運用されている事項

◎ 観察事項の定義

- ・法令や Suzuka-EMS の各種手順等には抵触しないが、その運用において改善の必要性等が認められたとき

◎ 疑義事項の定義

- ・改めて確認が必要な事項

◎ 指摘事項の定義

- ・法令や Suzuka-EMS の各種手順等に明らかに違反している事項が認められたとき

以下に、今年度実施の監査の推奨事項・観察事項・指摘事項の一部を掲載いたします。

## 令和7年度内部環境監査 推奨・観察事項 (一部抜粋)

以下に今年度の監査の中で、他所属でも参考にしていただきたい内容の推奨事項と、多くの所属でみられた観察事項を記載いたしましたのでご確認ください。今後の環境保全活動の参考にしてください。

### 推奨事項

- 環境配慮物品の購入推進のためにグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）の割合が80%以上であり、徹底されています。今後も引き続き、環境に配慮した行動を継続してください。
- 都市ガス使用量、定置式ガス機関で使用した都市ガスについて20%以上削減されています。この原因は設備の修繕を行ったことに起因するとのことであり、適切に点検を実施し修繕を行った好事例と考えます。
- 独自の環境目標として、保護者、地域住民に対し紙で配布していた文書を配信メールを活用することで、紙削減を行ったことは学校のみならず地域に対し、環境活動の意義を広めた素晴らしい活動であることから、今後も継続してください。

### 観察事項

- 電子決裁の割合が0.7%と非常に少ないです。DXの観点を取り入れ、電子決裁に代えることができる事務処理があるかどうか、検討をお願いします。
- 電気使用量とプロパンガス使用量が15%以上増加しています。特にプロパンガス使用量については、過去5年間を比較すると同じような波があり、R6年度の使用量が取り立て多いわけではありませんが、少しでも削減できるよう、環境に配慮した行動をお願いします。
- ガソリン使用量と普通・小型乗用車（ガソリン）(km)が大幅に増加しています。業務の関係から増加しているため、やむを得ないと考えられますが、効率的に業務を行えることがあるかどうか、改めて検討をお願いします。